

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 9 月 3 日 作成

事務事業名		電算システム職員サポート事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	総務企画部	課長名	建岡 純雄
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	市長公室	担当者名	松本 嘉奈恵
	基本事業	85	情報化の推進			所属班	情報広報班	(内線)	1264
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	2
		1	2	1	16	11069		コスト削減優先度評価結果	11
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) 現在国をはじめ自治体では、行政サービスにおいて電子化の普及に取り組んでおり、ほとんどの業務がシステム化されている。業務において、電算システム(パソコンなど)が急速に普及し、職員が業務を効率的に行うことができる体制をつくるため、電算システム(情報系・基幹系)を職員が利用しやすい体制づくりを行う。各課から代表者を選出し、庁内ネットワーク推進委員会を開催。電子システムの運用についての検討や周知をする。
【業務の流れ】	電算システム(情報系・基幹系)を利用する全職員が業務を行う際のサポートを行う。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費)
【意見や要望】	職員から、電算システムを利用している職員間でレベルや意識の差がある、電算システムの利用について統一してほしい。(人によって使い方が違い、必要なデータを探しにくいなど)の声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・庁内ネットワーク推進委員会(5回) ・グループウェアなどによる職員への運用方法のお知らせ ・職員からの質問への対応	・庁内ネットワーク推進委員会(12回) ・グループウェアなどによる職員への運用方法のお知らせ ・職員からの質問への対応
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 庁内ネットワーク推進委員会の開催回数	回
	イ 職員へのお知らせ、職員からの質問件数
	件
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標
電算システムを使用している市職員、嘱託・臨時職員	(単位)
	⇒ ア 電算システムを使用している市職員、嘱託・臨時職員
	人
	⇒ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標
電算システムに対する使用および利用がレベルアップする。	(単位)
	⇒ ア サポート対応率
	%
	⇒ イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
電算システムを有効運用するには、職員の電算システム利用意識のレベルアップが必要であるため、職員に対するサポートを重要と考える。	

(2) 各指標・総事業費の推移

	単位	19年度	20年度	21年度	21年度	22年度	23年度	24年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込
④ 活動指標	ア 回	2	3	5	5	12	5	5
	イ 件	1550	950	850	850	850	850	800
⑤ 対象指標	ア 人	350	350	350	350	350	350	350
	イ							
⑥ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100
	イ							
投資入量	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	繰入金	千円						
	一般財源	千円	12	13	13	13	13	13
	(A) 事業費計	千円	12	13	13	13	13	13
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	5	5	5	6	6	6
延べ業務時間	時間	1,790	1,776	1,790	1,700	1,700	1,700	
(B)人件費計	千円	7,106	7,104	7,124	6,766	6,766	6,766	
トータルコスト(A)+(B)	千円	7,118	7,117	7,137	6,779	6,779	6,779	
								5,585

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	0
	0
	0

谷志市

事務事業名	電算システム職員サポート事業	所属部	総務企画部	所属課	市長公室
-------	----------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷	職員からサポートの要望に対応しているので達成した。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷	職員へのシステムサポートは随時行い、目標を達成する見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷	庁内ネットワーク推進委員会の会議の内容および委員の役割を工夫することで、職員への連絡体制の改善を図る。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷	職員からの質問や連絡事項は日々発生し、その対応が必要であり、類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	主に職員の人件費であるので、庁内ネットワーク推進委員会を利用し、職員への連絡体制を確立することで、個別の質問への対応が減少する。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷	⑤と同様。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷	電算システムに関する職員のレベルアップは組織全体として取り組むものである。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	職員へのシステムサポートは職員で行うべきであり、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>有効性は、庁内ネットワーク推進委員会の役割を見直し、職員が業務をスムーズに行うことができる組織にする。 効率性は、職員へのサポート体制や連絡体制にばらつきがあり、効率的な体制づくりが必要。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>分庁方式であるために、電算部署がない庁舎の職員からの質問や要望に対して即対応できないことがある。そのためにも、庁内ネットワーク推進委員会を活用し、全職員が業務を効率よく行うことができる体制をつくる。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>▽</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			△	低下			▽
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			△																				
	低下			▽																				
<p>(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>職員は個々の業務が忙しく、電算システムのレベルアップに費やす時間がとれない。</p>																								